

平成22年 8月30日  
東北地方整備局  
岩手河川国道事務所  
盛岡市

第3回 盛岡地区かわまちづくりワークショップを開催します！

＜かわまちづくり中津川ワークショップ＞

盛岡市と岩手河川国道事務所では、盛岡地区かわまちづくりの具体的な整備内容について、意見・アイデアを募るため、ワークショップを開催いたします。

今回は、いままでの意見を取りまとめた市民からの提案書（案）を基に議論し、今後、提案書を盛岡地区かわまちづくり懇談会に提言する予定です。

第3回 盛岡地区かわまちづくりワークショップ

◆日 時：平成22年9月2日（木）18:30～21:00

◆場 所：プラザおでって 3階大会議室

（盛岡市中ノ橋通1-1-10）

\* 参考資料（別紙のとおり）

・中津川かわまちづくり通信VOL3（第2回ワークショップ結果概要）

＜発表記者会： 岩手県政記者クラブ＞

【問い合わせ先】

国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所 019-624-3198

工務第一課長 <sup>ひかべ</sup> 日下部 栄一

盛岡市 019-651-4111

商工観光部観光課 課長補佐 小笠原 千春

# 盛岡地区かわまちづくりワークショップ 中津川かわまちづくり通信



## 第2回ワークショップ開催しました。

第2回ワークショップは、8月11日(水)開催されました。

第2回ワークショップでは、第1回での議論を踏まえ、具体的なアイデアを話し合いました。

市民から参加者20名、行政関係者約10名の計30名が4つのグループに分かれ、「整備」「自然環境」「ソフト施策」の視点でたくさんの意見が出されました。

### 今後のスケジュール

次回第3回ワークショップにより提案(書)をとりまとめ、盛岡地区かわまちづくり懇談会に提言する予定です。

懇談会及び盛岡市、岩手河川国道事務所は、その提言を踏まえ、整備可能な内容について順次、ワークショップに報告しながら整備を進めていきます。

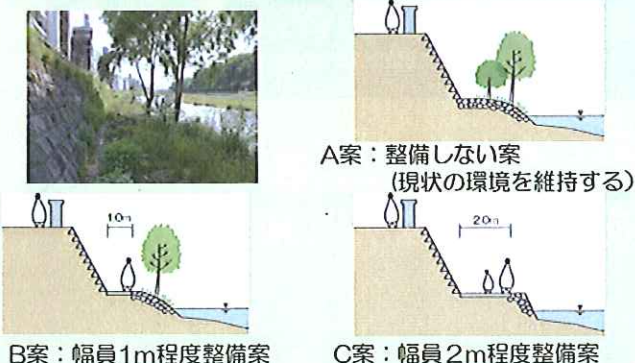
### 進め方(案)



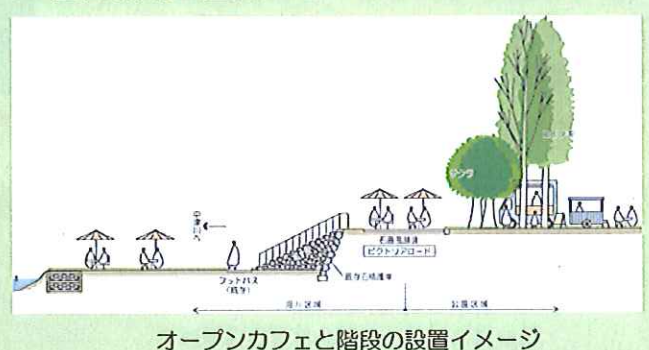
## 第1回ワークショップを踏まえた検討案について

第1回ワークショップで意見の多かった「遊歩道・階段・スロープ」、「オープンカフェ」について、以下の検討案を参考に議論しました。

### ■中の橋下流左岸の遊歩道について



### ■盛岡城跡公園前のオープンカフェについて





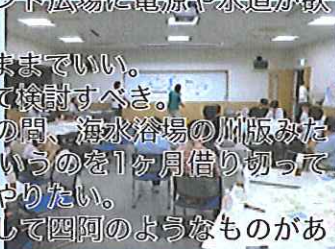
中津川の優れた自然を活かした「まち」のシンボル空間、そんな「かわ」づくりが求められます。

## ○ 主な意見（グループ発表より）

参加者みなさんの中津川に対する熱い思いが伝わりました。主な意見をご紹介します。

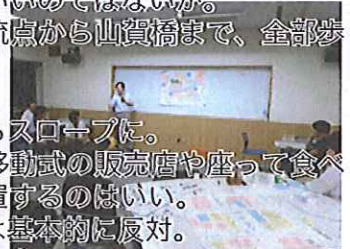
### ● グループK(5名)

- ・ ユリノキの下にトイレを整備する。
- ・ 中の橋の下流のイベント広場に電源や水道が欲しい。
- ・ 左側の遊歩道は今のままでいい。
- ・ 植生のあり方について検討すべき。
- ・ 中の橋下流は夏休みの間、海水浴場の川版みたいな「川水浴場」というのを1ヶ月借り切ってイベント的なものを作りたい。
- ・ 雨の時に隠れる所として四阿のようなものがあればいい。
- ・ 野の花美術館の周り、道路脇、川原に野の花を広げて植えたい。



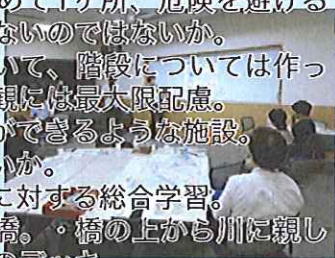
### ● アンタッチャブル(6名)

- ・ 左岸の遊歩道はいらない。ただ、草刈りその他掃除をするだけでいいのではないか。
- ・ 右岸に関しては合流点から山賀橋まで、全部歩いて渡れるように。
- ・ 飛び石はいらない。
- ・ 車椅子でも降りれるスロープに。
- ・ オープンカフェに移動式の販売店や座って食べられるテーブルを設置するのはいい。
- ・ ユリノキを切るのは基本的に反対。
- ・ ゴミ拾いも含めた親水。
- ・ そういう運動の一環としての「かわまちづくり」をしたい。



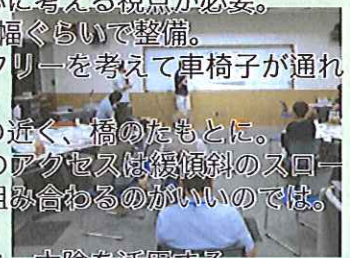
### ● オール・リバー(4名)

- ・ 飛び石を作る場合せめて1ヶ所、危険を避けるためにそもそも必要ないのではないか。
- ・ オープンカフェについて、階段については作ってもいいけれども景観には最大限配慮。
- ・ 川沿いでイートインができるような施設。
- ・ トイレも必要ではないか。
- ・ 写生コンテスト、川に対する総合学習。
- ・ 景観を配慮して木造橋。橋の上から川に親しめるような張り出しのデッキ。
- ・ 意見交換し合う、川に関する情報を発信できるような常設の拠点を置いて欲しい。



### ● アイデア組(5名)

- ・ 自然との共生を中心に考える視点が必要。
- ・ 左岸遊歩道は1mの幅ぐらいて整備。
- ・ 将来的にはバリアフリーを考えて車椅子が通れるような道を確保。
- ・ 階段は基本的に橋の近く、橋のたもとに。
- ・ オープンカフェ前のアクセスは緩傾斜のスロープと階段と上手く組み合わせるのがいいのでは。
- ・ トイレは不可欠。
- ・ ユリノキを切らずに、木陰を活用する。
- ・ 飛び石は中津川にマッチしない。
- ・ 中津川ならではのイベントをもっとアピールする。
- ・ 行政がもう少し表に出て頑張りたい。



#### ファシリテータのつぶやき

ワークショップ、ますます盛り上がっています。会場は、「中津川という宝」を大切にしたいという思いあふれています。こんな中津川にしたい。みなさんの思いはさまざまです。多様な意見から、議論を重ねて結論に導くのがワークショップの醍醐味です。

実りの多い議論のための秘訣。それは、相手の意見をより深く聴くことと想っています。「質問や反対するときは、意見を出した人ではなく、意見自体にする」ということを忘れないでください。（松本健一）

みなさん、お立ち寄りください

## かわまちづくりオープンハウス・明治43年パネル展ご案内

これまでワークショップで議論した検討案について、ご意見を募集します。  
(展示パネル・アンケートなど)

- 日時 平成22年8月29日(日)11時～15時
- 場所 中の橋下流河川敷(仮設テント)



問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 工務第一課

〒020-0066 盛岡市上田4丁目2-2

電話：019-624-3198（工務第一課直通）

Fax：019-652-7450

Eメール：iwate@thr.mlit.go.jp

http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/